

町政懇談会 会議録

1. 開催日時

平成22年8月1日(日) 午後1時30分～午後3時30分

2. 対象地区・団体

縄沢自治区、青坂自治区、軽沢自治区、程窪自治区、泥浮山自治区、長桜自治区

3. 代表者名

縄沢自治区長 青津誠一 (参加者数：38名)

4. 開催会場

広谷寺

5. 町出席者

町長 伊藤 勝・副町長 和田正孝・建設水道課長 酒井誠明

企画情報課長 杉原徳夫・同課広報広聴係長 鈴木洋祐

6. 町政方針説明

私が、町長になってからまちづくりの基本としているのは、町の経済の活性化をどのように進めるかということです。この町で生活できる経済の活性化なくして、将来の発展はないのではと考えます。これまではみんな健康で長生きする町、お年寄りの元気な町を基本方針としてきましたが、これは間違いではなく正しいことであったと思います。しかし一方、若者の減少、雇用機会の確保などの面で、この町でどう生活していけるのかという点での配慮が不足していたと思います。私の任期中に何とか地元で雇用の生み出せるような町の経済の活性化に取り組みたいと考えています。具体的に進めるにあたっては、町の現状を認識し、身の丈にあった地域づくりを進めます。また、地域の特色を出していくことも重要です。実施にあたっては少なくとも構いませんので、できる方、気のあった方々がまず動き出すことが大事です。町としてもその支援に積極的に取り組みたいと考えます。

7. 事前協議事項

① 融雪溝事業の実施計画について

(縄沢自治区長) 今年から調査、来年度には完成ということですが、あらためて進め方について説明をお願いしたい。

(建設水道課長) 県の事業と町の事業とに分かれています。ともに今年度に測量・設計を行い、来年度着工し冬期には使用できるよう計画しています。

② 個別合併浄化槽設置事業について

(縄沢自治区長) 事業概要について、説明をお願いしたい。

(建設水道課長) 町では、特定環境下水道事業・農業集落排水事業・個別排水事業により汚水処理整備を行ってきました。当集落では計画の見直しを行い、経済的に優位な個別排水事業で対応することとしており、来年度から整備を進めます。この事業は、町が浄化槽を設置し、下水道料金をいただきながら浄化槽管理は町が行うというものです。排水管の設置やトイレの改修工事は個人負担となりますが、これらの費用を町指定金融機関から融資を受けた場合、利息分を町が助成する制度もご用意しております。詳しくは、改めて説明会を開催します。

③ 徳蔵橋騒音解消について

(縄沢自治区長) 今年から町民バスも通行するようになったが、車両が通ると振動するという苦情が数件寄せられている。改善について、町に対策をお願いしたい。

(建設水道課長) お話の橋梁は、高速道路の建設時に大型車両が通行するために橋の補強ということで道路公団が整備したものであります。工事終了後、道路公団より仮設の橋をどうすべきかとの相談がありましたが、町としては古い橋よりも仮設の橋のままの方が良いと判断し、現在に至っている訳です。騒音の原因は、鉄製の橋桁に独立して敷いてある覆工板が、車両が通行すると橋桁とぶつかりガタガタと音を発生させるものと考えられます。対策としては、覆工板を鉄筋で溶接し一枚の板とし、その上にアスファルト舗装を行うなどが良いかと考えられます。

なお、現在町では町道橋の長寿命化を進めるために、点検や修繕計画の作成に取り組んでいますので、これらの結果を踏まえ検討していきたいと考えます。

8. 意見交換

(意見) 過去に要望したことがあるが、防災無線が聞き取りにくい。スピーカの向きを変えたことがあるが、改善がみられない。

(企画情報課長) 担当課に伝え、確認を行うようにします。ずいぶんと老朽化が進んでいるため、デジタル化への変更も計画しています。

(意見) 軽沢地区、泥浮山地区も同様なので確認して欲しい。

(意見) 融雪溝に関して、その工事が終わったら舗装のやり直しをするという話もあったが、どうなるのか。どうせなら、全面的に実施してもらいたいが。

(建設水道課長) 融雪溝事業を行う箇所については、舗装のやり直しをします。それ以外の箇所については、本事業での対応が可能なのか県と協議を進めていますが、すべてをやり直すことは難しいと思います。

(長桜自治区長) 山間部の集落に住む者としては、生活道路は大切です。この路線において数カ所、待避場所を設けていただけないか。あわせて、側溝周辺の雑草が生えにくい処理、道路沿いの高所の支

障木の伐採処理についてお願いしたい。

(町 長) 何度も通っていますので、狭いことは認識しています。用地買収は出来ませんが、待避場所の候補地となる箇所を提供してもらえらるなら検討できるかと思ひます。地区で検討の上、連絡いただきたい。

(長桜自治区長) 携帯電話の利用環境について改善できないか。

(町 長) 毎年、1基ずつ整備しています。要望が多いため何力所もという訳にはないこともありますが、逐次整備していきたく思ひます。

(長桜自治区長) 尾野本小学校上谷分校について、内部の壁を抜く処理などができれば広いスペースが確保でき、今後の地域おこしの場として利用できるのではないかと考えていますが。

(町 長) 空き家にしておくのはもったいないと思ひます。ただし、教育財産であり休校扱いになっているため、勝手に手を加えることはできません。行政財産へ移し替えが必要となりますが、ほかの休校施設についても、同じように利用方法があれば活用できるよう検討していきたく思ひます。

(意 見) 縄沢集落の消防屯所は大変狭い。若い人も入団し地域防災活動に一生懸命取り組んでいますので、ぜひ新たな整備を検討していただきたい。

(町 長) 消防団全体の計画の中で検討していきたく思ひます。

(長桜自治区長) 長桜地区までは路面が舗装され、青坂地区からも路網が整備されました。要望として、集落の林道についても整備していただくと大変ありがたいのですが。

(町 長) 担当課と協議し、現地確認をするようにします。

(意 見) 甲石地区に住んでいますが、ここは水道になっておりません。これからの時期、湯水になってしまう。ボーリングするなり、何か対策を考えていただきたい。

(建設水道課長) 何度か水源調査をしていますが、適当な場所が見つからない状況です。適した場所があればご連絡いただき、現地確認をしたいと思ひます。また、町の上水道を延長するというこも考えられますが、国道を横断すること、国道用地に敷設することなどが課題となります。なお、受益者負担として20%のご負担をお願いすることになります。

(軽沢自治区長) 土砂災害を防ぐためのブロックが積まれている場所の浸食が続いているので対策して欲しい。また、林道の管理が大変になってきているので、対応をお願いしたい。

(建設水道課長) 災害復旧工事で実施した箇所かと思われませんが、改修には多くの予算が必要と見込まれています。何か該当する事業がないか検討しているため、時間をいただきたい。

(軽沢自治区長) 尾野本小学校軽沢分校も老朽化が進み、まもなく解体されることとなっています。地区としては集会所があると大変助かります。整備に対する支援制度などはありませんか。

(町 長) 軽沢地区の現状を考えると、新たに集会所を整備するのは負担が大きいのではないかと思ひ

ます。空き家や住宅の一角を上手に利用するなど考えていく方が良いのではないのでしょうか。

(意見) 集会施設として、消防屯所を利用することは差し支えないか。

(町長) トイレや流し台などの有無で使い勝手の善し悪しはあると思いますが、多目的に利用しているという例はあります。なお、屯所整備の中でこれら集会所的な設備を組み込むことは目的外となりますので困難です。

(意見) 縄沢地区も集会所はあるが、狭くて使いにくい。今日の会場であるお寺を改修して利用することについて、町で支援などはできないのか。

(町長) 明らかにお寺であるところを、公の集会所整備とはいえ補助などで改修を行うことは、宗教分離の観点から無理といわざるを得ません。堀越地区では、集落内のお寺に地区の予算で入口などを別個に整備し利用している例もありますので参考としていただきたい。

(意見) 上谷地区などの5集落が集まり、地域づくりに取り組みたいと考えている。今回、宮城教育大学の学生の協力を得ながら地域づくり支援事業に着手することとなりました。採択結果を報告したところ、地域の皆さんも大変喜んでいました。町にもお世話になるとは思いますが、応援をよろしくお願ひしたい。

(町長) 地域づくりで大切なことは、地域の素材をいかに活かしていくかということだと思います。長桜地区のワラビ園などは良い例思います。まず、広く会議を起こすことが大切であり、結果を追い求めるだけでなく、長期間にわたる展望を持って取り組まれることが良い結果を生むと思います。

(意見) 私はまだ若い世代ですが、これから年齢を重ねた後に地域づくりなどを考えてみたいと思うかもしれません。その時、町はどのような支援をしてくれるのでしょうか。町の支援なくして行動は起こせないということもあります。

(町長) 町としては、皆さんに何かをしてくれということはありません。最近、奥川地区の女性グループから使われなくなった学校給食施設を産品加工場として利用したいので、手直ししてもらえないかとの話がありました。この話も、町が整備した施設を使いませんかと提案した場合には誰もやらず、始めても長続きもしないのではと思います。なぜ、やらなければならないのかとさえ思われてしまうかもしれません。つまり、町としては「自分たちがやりたい」「何かしたいので応援して欲しい」と言われれば支援を検討するという考えであります。もちろん、取り組んでもらえるような働きかけはしていきたいと思いますが、結局のところ動くのは地域の方々や個人です。今後このような場合には応援していくという姿勢を明確にお知らせしていく必要があるのではと思っています。

私は、地域づくりの本質は「収益性があるか」「雇用拡大ができるか」であると考えており、ボランティアとは全く違うものであると思っています。これからは趣味半分ではなく、儲けること、働く場を確保していくという思いがなければなりません。このために必要な協議があれば、町としても門戸

を広げ様々な対応をしていきたいと思っています。アドバイザーもたくさんおりますし、これら活動には定年はありませんので、働けるうちは働くことができます。

ミネラル野菜の栽培に取り組まれた女性から伺いました。自分の財布を持ち、預金通帳を持てたことがうれしく、やって良かったということでした。苦労はありましたが、自らやろうという信念を持って続けた結果が、自立または達成感という形で、現れたことを喜んでいてということではないのかと思います。

(意見) 本町は過疎や高齢化など多くの問題を抱えているかと思います。私はキノコ栽培を行っていますが、冬にご飯を食べられないような就労環境ではだめだと思っています。幸い、キノコ栽培は冬期間も働くことができ、また若い後継者も増えつつあるので、うれしく思っています。ただ、若い者は資金がないわけで、町にはかなり無茶な支援をお願いすることもありました。その分、私たちも結果を出すことに必死で取り組んできました。その結果、生産高1億円になろうかというところまでくることが出来ました。この町はキノコ栽培に適していると思います。今後は付加価値を持たせるために、地元において木材からオガ粉を生産し、燃料にも使用するなどの地産地消による栽培方法に取り組み、これらの環境対策により生産されたキノコを付加価値のある林産物として市場に送り出したいと考えています。やはり、若い人を育てる環境を作っていく必要があり、私たちも具体的な計画を持って町に突きつけていくことが大切であり、町もそれにしっかり対応してくれるものと確信しています。

(町長) 私も、キノコ栽培には興味を持ちながら対応していきます。ただ、儲かる分野であれば必ず企業が参入してくるという危機感を持たなければならぬと思います。外国産が不振となり、国産とのコスト差が少なければ国産は売れるはずですので。また、商品開発の面ではキクラゲ栽培にも取り組んでいるようですが、お葬式の引き物に乾物として利用してはどうかという話もあります。消費量はかなり増えると思います。

(町長) 以前、企業訪問をしましたが、企業支援に資金提供を行うという話をしたつもりはありません。企業が何を求めているかを伺い、町に何ができるかを考えたいということで実施しました。町として考えたものとして、町が資格を取得し「無料職業紹介所」を開設するというのがあります。これはハローワークと同じような業務を町ができる制度で、町内において企業が求める人材の確保に的確に答えることができるというものであります。また、雪対策については町内の企業すべてに関連する問題なので、町として何かできないか検討しているところです。

企業の皆さんからは、町が企業訪問を行ったことに対し心強く感じたとのお話をいただき、このような意見交換の場は必要なことであると再認識したところです。

(意見) 縄沢地区の水路管理についてお話しします。上流の甲石から堰がありますが、これは農業用

水、生活用水及び防火用水を兼ねています。何十年前から苦勞しながら維持してきましたが、どうしても上流地の一角に維持困難な場所があるので、集落作業がある際に確認にきていただきたいと思います。果たしてあの状態が良いのかを判断していただきたい。

(町 長) 日程調整の上、担当課長が伺うようにします。